

平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年11月12日

上場会社名 中日本興業株式会社 上場取引所 名  
 コード番号 9643 URL http://www.nakanihonkogyo.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 服部 徹  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 感動創造支援 (氏名) 三田 則男 (TEL) 052-551-0274  
 本部部长  
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日 配当支払開始予定日 平成27年12月2日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の業績 (平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	1,946	27.2	119	△6.8	121	△7.4	81	0.4
27年3月期第2四半期	1,530	—	127	—	131	—	81	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
28年3月期第2四半期	153.21		—					
27年3月期第2四半期	152.01		—					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	5,094	3,765	73.9
27年3月期	4,992	3,727	74.7

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 3,765百万円 27年3月期 3,727百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	30.00	—	30.00	60.00
28年3月期	—	30.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の業績予想 (平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,672	15.3	156	19.7	157	16.9	104	0.3	195.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期2Q	540,000株	27年3月期	540,000株
28年3月期2Q	8,894株	27年3月期	8,823株
28年3月期2Q	531,146株	27年3月期2Q	533,417株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、経済政策や円安等の影響により企業収益が穏やかに回復し、設備投資の増加や雇用情勢の改善傾向が見られたものの、中国をはじめとする海外経済の下振れリスクが高まる等、先行きは依然として不透明な状況で推移しました。

このような経営環境のもと当社グループにおきましては、サービスの一層の充実を推進し、ご満足いただける映画・商品のご提供をすることで、お客様の「感動の創造」に努めてまいりました。

この結果、当第2四半期累計期間の売上高は19億46百万円(前年同期比27.2%増)、営業利益は1億19百万円(前年同期比6.8%減)、経常利益は1億21百万円(前年同期比7.4%減)、四半期純利益は81百万円(前年同期比0.4%増)となりました。

なお当社は、平成26年9月1日付けで当社の連結子会社である中日本商事株式会社を吸収合併し、非連結となったため、前第2四半期累計期間より四半期財務諸表を作成しております。そのため、前第2四半期累計期間には、中日本商事株式会社が営んでいたリラクゼーション事業及びアド事業の平成26年4月1日から平成26年8月31日迄の業績は含まれておりません。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### 【シネマ事業】

映画興行界におきましては、4月～6月の興行収入は前年を下回りましたが、夏興行では、洋画を中心に話題作が揃い、前年同時期を上回る水準で推移いたしました。主な上映作品としましては、洋画では「ジュラシック・ワールド」「ミッション：インポッシブル ローグ・ネイション」邦画では「HERO」「進撃の巨人 ATTACK ON TITAN」アニメでは「バケモノの子」「ミニオンズ」などが高稼働いたしました。また、映画キャラクター商品、飲食商品の販売促進にも一層注力し、売上向上に努めてまいりました。この結果、売上高は14億12百万円(前年同期比2.7%減)、セグメント利益は1億27百万円(前年同期比2.2%減)となりました。

#### 【リラクゼーション事業】

リラクゼーション事業におきましては、競合店舗が多い中、近隣の顧客開発を強化し、引き続き地域密着型の運営を心掛け、店舗独自のイベントの実施やサービスの充実を図りました。しかしながら、若干の改善が見られたものの、近隣の大型施設進出の影響を受け、依然として厳しい状況でありました。この結果、売上高は3億86百万円(前年同期比547.1%増)、セグメント損失は14百万円(前年同期はセグメント損失4百万円)となりました。

#### 【アド事業】

アド事業におきましては、得意分野の映画宣伝や関連サイン工事をさらに伸ばして売上の上積みを目指し、積極的な営業展開を図ってまいりました。この結果、売上高は1億48百万円(前年同期比706.4%増)、セグメント利益は6百万円(前年同期比195.5%増)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末の総資産は50億94百万円となり、前事業年度末に比べ1億2百万円の増加となりました。これは主に流動資産の増加によるものであります。

負債は13億28百万円となり、前事業年度末に比べ64百万円の増加となりました。これは主に流動負債の増加によるものであります。

純資産は37億65百万円となり、前事業年度末に比べ38百万円の増加となりました。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の業績予想につきましては、平成27年5月13日公表時から変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

法人税等の納付税額の算定については、当会計年度の税金等調整前当期純損益に対する税効果会計適用後の実行税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純損益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しています。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成27年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	558,114	673,171
受取手形及び売掛金	117,565	127,781
有価証券	310,247	310,274
商品及び製品	6,533	7,102
前払費用	23,194	24,937
預け金	71,365	59,879
繰延税金資産	7,678	7,678
その他	4,146	143,714
貸倒引当金	△823	△844
流動資産合計	1,098,024	1,353,696
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,868,359	1,795,067
構築物（純額）	62,668	56,874
機械装置及び運搬具（純額）	182,096	152,341
工具、器具及び備品（純額）	50,436	59,062
土地	669,168	669,168
建設仮勘定	5,644	5,644
有形固定資産合計	2,838,374	2,738,159
無形固定資産		
電話加入権	1,147	1,147
ソフトウェア	94,640	78,137
無形固定資産合計	95,788	79,285
投資その他の資産		
投資有価証券	323,334	284,530
差入保証金	632,310	635,388
長期前払費用	4,490	3,606
投資その他の資産合計	960,135	923,524
固定資産合計	3,894,298	3,740,969
資産合計	4,992,322	5,094,666

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成27年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	289,199	322,279
1年内返済予定の長期借入金	131,196	131,196
リース債務	55,406	55,290
未払金	4,322	2,359
未払法人税等	5,649	42,662
未払消費税等	30,407	-
未払費用	53,431	46,731
従業員預り金	5,098	2,966
賞与引当金	14,814	14,480
その他	32,030	187,837
流動負債合計	621,556	805,802
固定負債		
長期借入金	87,896	22,298
リース債務	126,788	99,201
退職給付引当金	65,884	59,215
長期末払金	40,000	39,500
資産除去債務	53,806	54,419
受入保証金	215,868	207,672
繰延税金負債	52,782	40,745
固定負債合計	643,026	523,050
負債合計	1,264,582	1,328,853
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	270,000	270,000
資本剰余金		
資本準備金	13	13
資本剰余金合計	13	13
利益剰余金		
利益準備金	67,500	67,500
その他利益剰余金		
配当準備積立金	377,847	361,912
別途積立金	2,380,000	2,380,000
繰越利益剰余金	535,802	617,181
利益剰余金合計	3,361,150	3,426,593
自己株式	△66,523	△67,126
株主資本合計	3,564,640	3,629,481
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	163,098	136,331
評価・換算差額等合計	163,098	136,331
純資産合計	3,727,739	3,765,812
負債純資産合計	4,992,322	5,094,666

## (2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	1,530,237	1,946,647
売上原価	815,642	974,265
売上総利益	714,594	972,381
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	16,592	22,930
人件費	171,464	262,142
賞与引当金繰入額	8,985	14,480
退職給付費用	1,642	2,957
減価償却費	73,997	116,275
地代家賃	161,044	192,848
水道光熱費	40,674	91,522
修繕費	1,323	6,011
貸倒引当金繰入額	-	21
その他	111,080	144,147
販売費及び一般管理費合計	586,805	853,338
営業利益	127,789	119,043
営業外収益		
受取利息	1,127	214
受取配当金	2,476	2,525
貸倒引当金戻入額	1,160	-
協賛金収入	-	1,800
その他	3,657	1,301
営業外収益合計	8,423	5,841
営業外費用		
支払利息	3,311	1,710
その他	1,726	1,666
営業外費用合計	5,037	3,376
経常利益	131,175	121,508
特別損失		
抱合せ株式消滅差損	3,455	-
固定資産除却損	-	161
特別損失合計	3,455	161
税引前四半期純利益	127,719	121,346
法人税等	46,633	39,967
四半期純利益	81,086	81,378



(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期損益 計算書計上額
	シネマ	リラクゼーシ ョン	アド	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,452,192	59,672	18,372	1,530,237	—	1,530,237
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,452,192	59,672	18,372	1,530,237	—	1,530,237
セグメント利益又は損失(△)	129,969	△4,538	2,358	127,789	—	127,789

(注) 平成26年9月1日付けで当社の連結子会社である中日本商事株式会社を吸収合併したことに伴い、中日本商事株式会社が営んでいた、リラクゼーション事業及びアド事業の平成26年4月1日から平成26年8月31日までの業績については、含まれておりません。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期損益 計算書計上額
	シネマ	リラクゼーシ ョン	アド	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,412,330	386,171	148,146	1,946,647	—	1,946,647
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,412,330	386,171	148,146	1,946,647	—	1,946,647
セグメント利益又は損失(△)	127,054	△14,979	6,967	119,043	—	119,043

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。